

教 育 研 究 業 績 書		
平成22年 3月31日		
氏 名 佐々木 由利子 印		
研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
カウンセリング心理学 教育心理学 臨床心理学	グループワーク、カウンセリング、進路選択支援、 キャリア形成、女性の生き方、	
教 育 上 の 能 力 に 関 する 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例 就職のための自己分析セミナー ① 津田塾大学 ② 津田塾大学	平成17年 7月 28日 平成18年 7月 31日	第一印象ゲーム、面接ゲーム等のグループワークと自己分析シートを用いて就職を控えた学生の自己分析を援助するセミナー。自分の適性や他人の目に映る自分を確認することにより、就職への意識を高め、回り道の多い就職活動や、就職後の不適応を防ぐこと、更には長い人生を見据えたうえでのキャリア・プランを考えることをめざす。対象となった人数は回によって違うが1回につき30人ぐらいである。
2 作成した教科書、教材	平成17年 平成18年 平成19年 平成20年 平成21年 平成21年 平成21年	論文「津田塾大学卒業生のキャリア・ライフ・パターンの変遷」に載る大卒女性の仕事とライフ・イベントの関わり方の資料教材 論文「女性のキャリアと役割葛藤についての大学生の意識」に載る女性のキャリアに関する意識調査票、就職不安の調査票と調査結果の資料教材 論文「日本の大卒女性の働き方」に載る大卒女性の仕事の継続・転職・再就職の仕方にみられるパターンの資料教材 集団内対人葛藤を体験学習する授業用グループワーク教材「ジグソーパズル」 論文「カウンセリングの体験学習のために開発された4つのグループワークの研究」に載るグループワークの方法の教材 論文「グループワークを重視した授業における進路選択支援」に載る教授方法、グループワーク、シート等の教材 就職後不適応予防のグループワーク用教材2つ、一つは新聞記事を利用した社会で働く人生の先輩の困難乗り越え体験談集、もう一つはマイルドな集団内対人葛藤体験学習用ジグソーパズル。
3 教育上の能力に関する大学等の評価	平成20年度	学生の授業評価によると、授業への出席回数、グループワーク等の体験学習、声、配布プリントの活用の評価は高め、板書の仕方、質問への回答の仕方には改善の余地がある。

事項	年月日	概要
	平成 21 年度	職員の授業評価によると導入が良い、声が聞きやすく説明が分かりやすい。眠っている学生が居るなど。 学生のアンケートでは説明が丁寧すぎたり、不足なところがあったりする、もっと基礎的なことを教えて欲しい等。
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
クラーク国際高校柏キャンパス 訪問授業	平成 18 年 9 月 21 日	生徒たちにカウンセリングの基本的な考え方について講話
日本橋学館大学公開講座講師	平成 20 年 11 月	大学の社会人向け公開講座「カウンセリング入門」の講師 3 回
5 その他		
特になし		
職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格, 免許		
臨床心理士資格 (03231 号)	平成 3 年 11 月	認定団体 日本臨床心理士資格認定協会
TOEIC 860 点	平成 17 年 3 月	国際ビジネスコミュニケーション協会
2 特許等		
特になし		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
学生相談室相談員	平成 17 年以前～現在	本学開学当初より (除く平成 19 年度) 学生相談室相談員として活動
JCDA 面接試験官として活動	平成 17 年 12 月 平成 18 年 4 月 30 日、 8 月 27 日	日本キャリア開発協会によるキャリアカウンセラー資格である JCDA 選考の面接試験官を委託され活動。
キャリア・コンサルティング協議会委嘱 技能検定委員として活動	平成 20 年 10 月～ 現在	厚生労働省委託のキャリア・コンサルティング技能検定 (国家資格) の面接試験官を委嘱され活動。
4 その他		
特になし		

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(学術論文) 1 女性のキャリアと役割葛藤についての大学生の意識	単著	平成 17 年	学生相談研究 26 巻 1 号	女性が仕事上のキャリアを形成していく上で女性としての役割と板ばさみになり葛藤がおこる場合があるが、現在の大学生にとって将来の葛藤として何が最も意識されているのかを質問紙調査により調べた。依存願望、老親への親孝行、子供の将来形成が女子学生においては高かった。
2 日本の大卒女性の働き方—女子学生の進路選択のために—	単著	平成 19 年 3 月	日本橋学館大学紀要 第 6 号	近年の女性労働に関する資料により日本の大卒女性がどの程度働き続け、初職としてどのような要因で職種・業種を選択し、転退職をした場合の要因や転職先の傾向等を調べた。女性の働き方のパターンとして大きく仕事中心型、自己実現型、家庭重視型の 3 つにわけられそれぞれの特徴がうかがわれた。
3 カウンセリングの体験学習のために開発された 4 つのグループワークの研究	単著	平成 21 年	日本橋学館大学紀要 第 8 号	カウンセリング心理学の体験学習の評価基準として 7 条件が提示され、それに基づき筆者の開発した 4 つのグループワークが検討された。2 つの描画グループワークと 2 つの話す聴く見るグループワークのそれぞれがどういう気づきをもたらすことに優れているかが明らかにされた。
4 グループワークを重視した授業における進路選択支援	単著	平成 21 年	学生相談研究 29 巻 3 号	平成 17 年 3 月発行論文「カウンセリング心理学の授業における進路選択支援」において検討されたプログラムに効果が認められたが、心理テストの数を減らし、グループワークによる学生相互のフィードバックを重視し、まとめのシートを用いた改善プログラムの効果が検討され、一定の成果が見られた。
5 2008 年度日本橋学館大学学生相談室活動報告および現状分析	共著	平成 22 年	日本橋学館大学紀要 第 9 号	本学学生相談室の近年の活動状況および専任カウンセラー導入の効果(横山哲太郎、佐久間祐子、末松渉、佐々木由利子、柴原宜幸、村上千鶴子、中里弘共著)

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(その他) 【学会発表】				
1 キャリアを視野に入れた描画グループワーク	単独発表	平成 17 年 5 月	日本学生相談学会 第 23 回大会	学生が将来の進路キャリアを探索するのにも役立つ新たな描画のグループワークを紹介した。自分を何かの道具にたとえて絵を描く自己紹介法と、TA の脚本分析の要素も取り入れた二人で相互に絵を描いて仕上げるキャリア物語作成法 MDCSM の実践と学生の感想を紹介。
2 カウンセリング授業のグループワーク 2 題	単独発表	平成 18 年 5 月	日本学生相談学会 第 24 回大会	カウンセリング関係の授業で新たに開発したグループワークを 2 つ紹介した。自分の絵に他人によるいたずらを加えてもらったのち完成させるいたずら入りグループ回し描画法、筆者の創作した家族療法事例の続きをグループで役割をとりつつ創作してもらう家族療法演習の実践と学生の感想を紹介。
3 カウンセリングの授業での進路・キャリア選択支援	単独発表	平成 19 年 5 月	日本学生相談学会 第 25 回大会	2004 年度プログラムの反省をふまえた 2006 年度のカウンセリング心理学授業における進路選択支援のプログラムを紹介した。進路・キャリア計画シートの改訂版と、新たなグループワーク「事業を立ち上げてみよう」の実践とそれに対する学生の感想も含まれる。
4 話す聴く見るグループワークの試み 2 題	単独発表	平成 20 年 5 月	日本学生相談学会 第 26 回大会	話す聴く見る役割を取る三人組のロールプレーで用いる素材とテーマ、およびフィードバックの強調点によって全く別な効果が期待できる、その実践報告。一つは感情をテーマとし色布を使ったグループワークでカウンセリングの効果が実体験できたとする感想が複数みられた。もう一つは新聞記事を用いたキャリア探索グループワークで自分の現状確認に役立つと考えられた。
5 集団内対人葛藤のグループワーク	単独発表	平成 21 年 5 月	日本学生相談学会 第 27 回大会	社会に出て組織で働く時に起きてくる集団内における各人の持つ情報と意見の違いとそれによる対人葛藤を模擬的に体験学習し、その際に自分の取りがちな行動傾向を知るという自己理解を図るためのグループワークを授業で試行した際の実践報告